



■主催：一般財団法人燕三条地場産業振興センター ■共催：燕市・三条市
■協力：新潟県立近代美術館・株式会社ヤクルト球団・公益財団法人日本デザイン振興会・
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会・デザインオフィス ジー・ワン（順不同）
■後援：燕商工会議所・三条商工会議所・新潟日報社・三條新聞社・越後ジャーナル社・ケンオードットコム・燕三条エフエム放送（順不同）
□お問い合わせ：一般財団法人燕三条地場産業振興センター 燕三条ブランド推進室 TEL 0256-36-4123

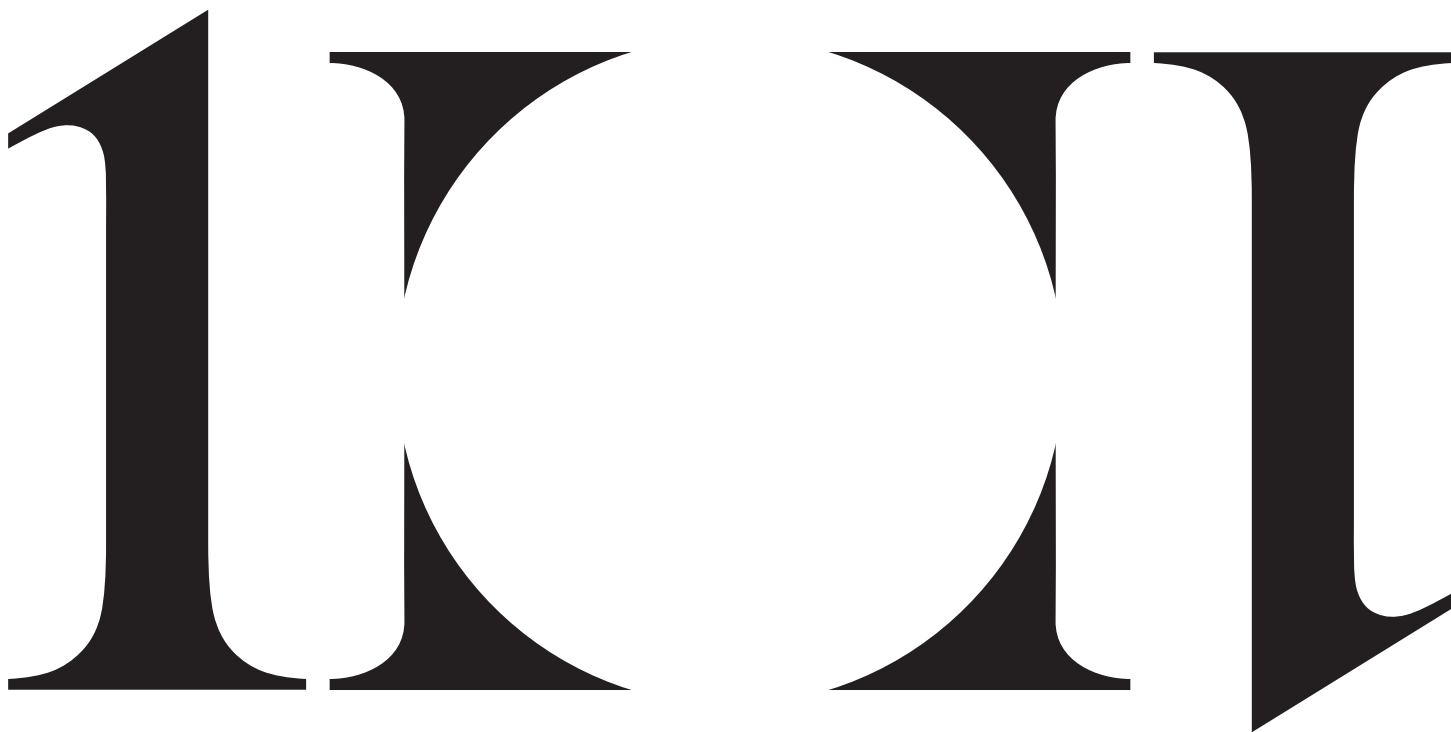
新潟県三条市須頃1丁目17番地

会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア3F デザインギャラリー

9.25 fri ▶ 10.12 mon | 入場無料
9:00~17:00

燕三条・デザインのDNA「亀倉雄策と小杉二郎」展

KOSUGI JIRO
industrial designer



KAMEKURA YUSAKU
graphic designer

燕三条・デザインのDNA「亀倉雄策と小杉二郎」展

9.25 fri ▶ 10.12 mon | 入場無料
9:00~17:00

会場：燕三条地場産業振興センター リサーチコア3F デザインギャラリー
新潟県三条市須頃1丁目17番地

■主催：一般財団法人燕三条地場産業振興センター ■共催：燕市・三条市
■協力：新潟県立近代美術館・株式会社ヤクルト球団・公益財団法人日本デザイン振興会・
一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会・デザインオフィス ジー・ワン（順不同）
■後援：燕商工会議所・三条商工会議所・新潟日報社・三條新聞社・越後ジャーナル社・ケンオードットコム・燕三条エフエム放送（順不同）
□お問い合わせ：一般財団法人燕三条地場産業振興センター 燕三条ブランド推進室 TEL 0256-36-4123



燕三条のデザインの源流は、 偉大な二人のデザイナーにあった。 その軌跡をたどる回顧展

燕三条のものづくりで大きな役割を果たしているデザインですが、その源流を辿ると、この地に関わり深い、日本のデザイン黎明期を語るうえで欠かせない偉大な二人のデザイナーの存在が見えてきます。

一人はグラフィックデザイン分野で世界にその名を轟かせた亀倉雄策氏。

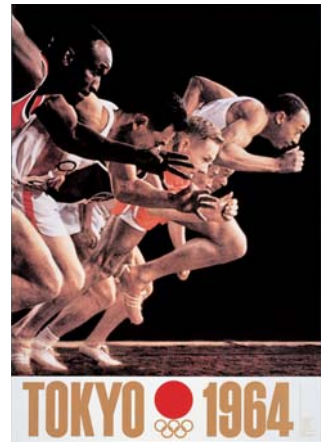
燕市(旧・西蒲原郡吉田町)で誕生、幼少期を過ごし、その後日本で、そして世界へと羽ばたき多くの作品を残しました。1964年東京オリンピック公式ポスターデザインをはじめ、NTTの“ダイナミックループ”と呼ばれるマークや、サンケイアトムズ(現東京ヤクルトスワローズ)のロゴタイプ、また当地で馴染み深いグッドデザイン賞マークや伝統的工芸品産業振興協会の伝統マークなど、私たちが普段から慣れたグラフィカルなデザインを手がけました。またこのような偉業から、2000年に“吉田町名誉町民”、2006年の合併により“燕市名誉市民”となりました。

そしてもう一人は、戦後日本のモータリゼーションをデザインで支え、三条市企業の多くの製品デザインを約30年にわたり指導したインダストリアルデザイナー小杉二郎氏です。自動車のデザインではマツダの三輪トラックから愛らしい軽自動車のデザイン、また家電・ミシンをはじめ産業機器、そして当地産品のデザインなど、国内のデザイン品質向上はもちろん当時の外貨獲得にもデザインで貢献しました。

このように、戦後日本のデザインを牽引し、燕三条に関わりの深いこの二人のデザイナーは、奇しくも今年が生誕100年となる節目の年にあたります。この機会にその作品や活動の一端をご覧いただければ幸いです。



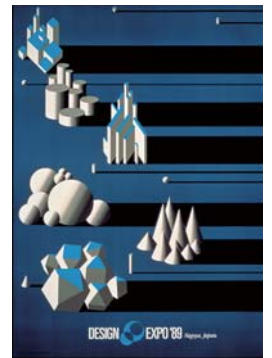
東京オリンピック 公式ポスター第1号 1961年 亀倉雄策



東京オリンピック 公式ポスター第2号 1962年 亀倉雄策 (フォトグラフィアー:早崎治 フォトディレクション:村越義)



ヒロシマアペールズ1983 ポスター 1983年 亀倉雄策 (イラストレーション:横山明)



EXPO 89 ポスター 1986年 亀倉雄策



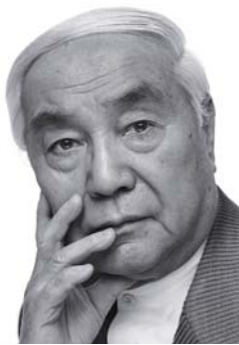
マツダR360クーペ 1960年 小杉二郎 ※実車の展示はありません。



(株)マルト長谷川工作所 ネイルニッパー・クリスタル 2010年Gマーク 小杉二郎



ジャノメミシンModel 320型 1954年 小杉二郎



@kurigami

亀倉 雄策 (かめくら ゆうさく) :当地との関連

燕市(旧・吉田町)出身の世界的なグラフィックデザイナー亀倉雄策氏は、今年生誕100年を迎えました。亀倉家は旧・吉田町の名家で、雄策は6人兄弟の末っ子として生まれ幼少期をここで過ごしました。その後、小学生の頃に家族で東京へ移り住みました。生家は現在の燕市吉田中町にありましたが現在は解体されています。

一般に知られる代表作の東京オリンピックのポスターデザインのほか、当地のものづくりの目標の一つでもある“G マーク”や“伝統マーク”のデザインも亀倉氏の作品です。これらの作品やここでご覧いただく展示からもわかるよう、簡潔で力強く、印象に残る作品を数多く創作しました。

亀倉氏は、日本デザイン界の中心として活動し続け、1997年(平成9年)に故人となりましたが、生前の功績を称えられ、2000年に「吉田町名誉町民」、2006年の合併により「燕市名誉市民」となりました。

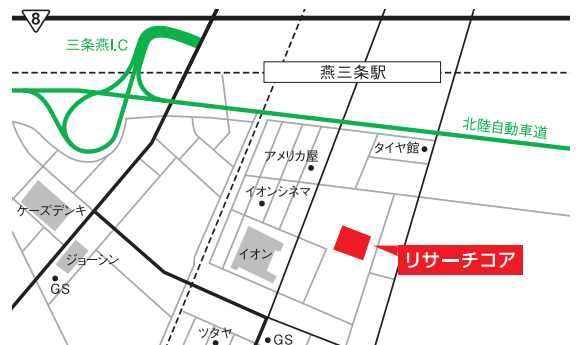


小杉 二郎 (こすぎ じろう) :当地との関連

三条にゆかりの深いインダストリアルデザイナー小杉二郎氏は、今年生誕100年を迎えました。戦後に始まる日本のインダストリアルデザイナー第一世代を担った方で、自動車やミシンのデザインで知られています。

祖父は日光町長(現・栃木県日光市)も務めた国学者、父は洋画家の小杉放庵で母ハルとの第二子として生まれました。

東京美術学校(現・東京藝術大学)卒業後、何度かの兵役を勤め昭和20年頃からフリーのデザイナーとして活動を始めました。それから間もなく(昭和27年)、東京美術学校の恩師で三条市出身の工芸家広川松五郎氏の仲介で三条市(土田治五郎市長・当時)の嘱託デザイナーとしてこの地との関わりが始まりました。平均して二ヶ月に一度、二日間、その間10件前後の案件に実際のデザイン行為も含め様々なデザインの相談に応え、亡くなる昭和56年までの29年間にわたり、当地のものづくりに尽力しました。



〒955-0092 新潟県三条市須頃1-17
燕三条地場産業振興センター リサーチコア3F デザインギャラリー
TEL 0256-36-4123

作品解説会

開催日時: 9月27(日)・10月4(日)・11(日) 各日10:00~14:00~【2回】

ナビゲーター: 大縄 茂 氏 (デザインオフィス ジー・ワン)